



《パーミヤンの大石仏を偲ぶ》2001年

平山郁夫美術館所蔵 3月27日より展示

緊急企画 流出文化財返還記念

# アフガニスタンと平山郁夫

2016年3月12日(土)～6月21日(火) ※会期中は無休

平山郁夫シルクロード美術館 1階 展示室5

[開館時間] 10:00～17:00 (入館は閉館の30分前まで)

[入館料] 館内 共通 一般1,200円 高大生800円 小中学生無料

[特別協力] 東京国立博物館／流出文化財保護日本委員会／東京藝術大学アフガニスタン特別企画展実行委員会／産経新聞社

※東京国立博物館(表慶館)にて開催される特別展「黄金のアフガニスタン—守りぬかれたシルクロードの秘宝—」4月12日(火)～6月19日(日)に入場されたお客様は、入場チケット半券のご提示により300円引きとなります。

同時開催

“煌めく布 金更紗と金糸織”展

インド・インドネシアで作られた金更紗や金糸織は、王侯の衣装や儀式のための聖なる布、そして高価な交易品として珍重されてきました。本展では「煌めく布」の数々をご紹介します、その繊細かつ大胆な金の魅力をご覧ください。

また「平山郁夫欧州写生絵巻—フランス編—」も展示いたします。



花唐草文様  
金更紗

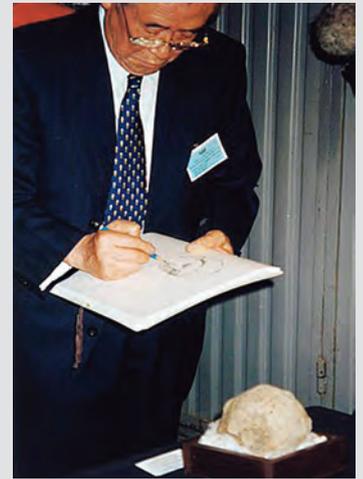
クリシュナ図  
描繪金更紗

公益財団法人 平山郁夫シルクロード美術館

〒408-0031 山梨県北杜市長坂町小荒間2000-6  
TEL:0551-32-0225 <http://www.silkroad-museum.jp>

今年の1月から6月にかけて、九州国立博物館と東京国立博物館(表慶館)で、巡回開催される特別展「黄金のアフガニスタン—守りぬかれたシルクロードの秘宝—」では、アフガニスタン国立博物館に秘蔵されていた、美しい古代の黄金製品が紹介され、大きな話題となっています。同展では、平山郁夫が提唱し、日本で「文化財難民」として保護された「アフガニスタン流出文化財」(全102件のうち15件)も特別出品され、これを機に「流出文化財」がアフガニスタン政府に返還される事が決まっています。

これまで平山郁夫の遺志を継ぎ、「流出文化財」を一部保管してきた平山郁夫シルクロード美術館(山梨県北杜市)でもこれにあわせ、アフガニスタンにおける平山郁夫の軌跡をたどる緊急企画を開催することとなりました。平山郁夫が1968年にはじめてアフガニスタンを訪問したときの貴重なスケッチ記録や、バーミヤンの大石仏が破壊された直後に描いた《バーミヤン大石仏を偲ぶ》(2001年)、荒廃した同地を再訪したときの記録映像などとともに、アフガニスタンの復興と文化財保護を訴えた画家の足跡をたどります。



2002年 カブールにて破壊された文化財をスケッチする平山郁夫



《アフガニスタンの砂漠を行く・日》 2006年 平山郁夫シルクロード美術館所蔵

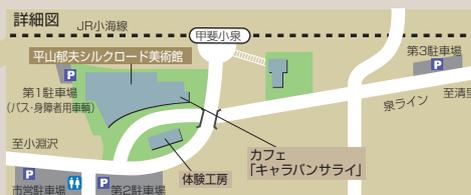
次回予告 「平山郁夫 道遙か」 2016年6月25日(土)から



2階展示室



外観



カフェ「キャラバンサライ」

美術館の2階ラウンジ内にカフェ「キャラバンサライ」がオープンしました。三方ガラス張りの明るい店内から、ハケ岳、南アルプスの眺めを楽しむことができます。  
・営業時間10時～17時



**ハケ岳リゾートバス**  
小淵沢駅を起点とした「ハケ岳リゾートバス」が運行します。運行日にはタイムスケジュールをご確認頂きますようお願い致します。詳細は当館HPをご参照ください。

アクセス

**電車** ●新宿駅(JR中央線特急・約2時間)⇒小淵沢駅(JR小海線・7分)⇒甲斐小泉駅  
**自動車** ●小淵沢ICより約10分。ハケ岳高原ライン小荒間交差点を右折後、踏切を越えてすぐ左折後300m



公益財団法人  
**平山郁夫シルクロード美術館**

〒408-0031 山梨県北杜市長坂町小荒間2000-6  
TEL:0551-32-0225  
<http://www.silkroad-museum.jp>

